夕刊
磐城時報
（第三種郵便物認可 大正八年三月七日）
昭和十三年九月廿三日 THE IWAKIJIHO （金曜日）（第七千三百十九號）（一）
廿二日
福島縣平市麗屋町十四 編輯兼發行人 岡田弘成
福島縣平市麗屋町十四 印刷所 加納活版所
福島縣平市麗屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

待望の東日本丸
けふ未明小名濱入港
直ちにサンマ漁に出帆

小名濱漁業組合が主体となつて創立した東日本漁業株式會社の遠洋漁業船東日本丸は二十二日未明神奈川縣千島附近を探査中であるが三崎港から小名濱港に入港左の如き狀況を無電で水産試驗場に報告して來た。

千島附近は水温十五度で未だ魚群を發見するに至らない、茨城、宮城兩縣の指導船も同樣發見せず同方面は目下宗谷海峽に低氣壓が發生し漁場方面に進行中で南々東の風浪強く捜査全く困難で、ご丶數日は漁撈の出來る見込つかず本年の秋刀魚漁は遲延するであらう。

出帆した水産試驗場磐城丸は秋刀魚群を追つて二十日身書壇の雄太田秋民書伯の作富士山の圖と、本多朝忠氏の吹矢像を掲げる。

▲自動車檢査 平署管内自動車車体檢査は二十六日から四日間市内八幡小路で行ふ。

公會堂に 畫と彫刻

平市公會堂は十月三日の竣工式を擧行するが目下内外の裝備を急いでをり平鐵工機械組合から寄贈の本縣出

磐中、平商 射撃選手

來る二日浪江射撃場で擧行される縣下中等學校射撃大會濱通り豫選への出場校は磐中、平商、双中、相中、相農の五校地元出場選手左の如し。

（磐中）木田武夫、高木久渡邊一、小泉道朝、木村忠重

（平商）荒川利夫、阿部浩祐、蕨谷英夫、野口隆男

鈴木清一郎

德富蘇峰氏を招き 教育會で講演會
十月十五日平市公會堂で

平市教育會では十月十五日から市内公會堂で左の如く滿洲事情紹介映畫會を開くが、當日は蘇峰德富猪一郎氏を招き講演會を催す

一般來觀を歡迎する。

内鮮滿周遊の旅、漫畫版原兒（移民映畫）草原バルカ（蒙古風俗）北山廟會（滿洲の祭禮）大金剛山の譜。

鮮滿照介映畫會

滿鐵東京鮮滿案内所の主催で來月十一日午後六時半か

石城選手優勝
縣下鄉軍武道大會

縣下在鄉軍人武道大會は二十一日から福島市で擧行されたが縣下から二十二聯合分會の精鋭代表二百五十名出場、射撃、銃劍術、軍刀術の各部に分れて熱演の結果左の如く石城郡が百二十一點八を獲得優勝した。

磐中で 英語講習會

磐中では十月八日福島高商去る十六日秋刀魚漁場調査のため一足先に小名濱港を

石城梨の出荷
東京方面に四千箱
郡農會で斡旋

石城梨は郡農會の斡旋によに十數車を東京に送つた、大野、平の各市町村から既圓に近い。

約束を履行せぬと 鉋丁で脅迫

双葉郡浪江町大字權現堂字上横町木炭製造業淀川七郎發電所、新津油田等を見學するとと。

△貸付金に對しては少くとも三ヶ月或は半年の据置猶豫期間を置いて貰ひたい

△返濟期間は一年となつて居るが定欵を變更してそれ以上に期間を延長出來ないか

△組合の事務に當る者の中に横柄な者があり加入者の感情を害する場合がある注意して欲しい

△貸付利率を低下してはどうか

△組合の根本趣旨を一般に認識せしめる爲め本部より適當な講師を招き普及宣傳の講演會を開いては如何

諸橋常務理事から貸付に關しては組合員の信用狀態を參酌して据置期間、利率等適當に便益を圖り其他の注意に對しては何れも普所する事となり誠意を披瀝する處あり具體的な募集方法其他を協議し理事猪狩庄平氏から倉入れ擔保に就いて説明を加へ參會者一同組合の擴充伸展に協力すべきを申合せ午後十時散會した。

佐藤伍長の 町葬執行

平庶民金庫の擴充委員會は二十日午後六時半マルトモホールに開き理事長諸橋久太郎氏の挨拶、理事諸橋敬一郎氏が過去五ヶ年間に飛躍した業績に就いて説明、野崎縣議が理事を代表して組合強化を力説議事に入つたが、組合員の新募集を契機として業務の刷新を圖る事が先決であるとて擴充委員の側から大要左の如き希望意見があり

雨澤上等兵の 遺骨到着

四倉新町字太夫坂居住雨澤ヤヒさんの弟陸軍歩兵上等兵雨澤要三君（二三）は張皷峰の激戰に於て名譽の戰死をなしたが、去る二十日午後一時四分四倉驛着の列車にて官民多數の出迎いを受けて無言の凱旋をなしたが葬儀は來る十月上旬頃町葬で執行する豫定である。

新田教諭轉任

平商教諭新田繁藏氏は新潟縣高田高女に榮轉したが後任は栃木縣青年學校教諭永岡堅治氏で近く着任する。

佐藤氏寄附

市内古鍛冶町佐藤善次郎さんは昨日平軍事後援會へ五十圓を寄附したが、二十二日更に左の如く寄附した。

聯合軍人會へ三十圓
國防婦人會、研古青年團へ各二十圓

鄉里に相濟まぬ
村松陸軍病院にて
清水久吉

氣持のよい秋の候となつて參りました。

市長殿初め皆々樣には益々御健勝にて市の發展、銃後と日夜御活躍なされ誠に感謝に堪えません。

本日は又御多忙中にも拘らず遠路態々伊藤助役殿酒井主事殿の御慰問の御言葉且又平軍事後援會より多大の御見舞金を賜り重ね〳〵の御厚志ありがたく厚く御禮申上げます扨て私七月中旬頃より體に異常を覺え大隊醫務室にて加療中の處日に〳〵惡化脚氣、兩側坐骨神經痛と謂ふ病名のもとに八月一日盧州野戰病院に收容せられ同月九日浦口豫備病院、同月十三日上海兵站病院と後送になり一意快癒に勉めたのですが急治の見込なきか同月廿二日内地還送を命せられましたが戰鬪半にして歸還する事は銃後の皆樣に對し面目なく醫官殿に種々歎願いたしましたが再び第一線に於て戰友各位に御迷惑をおかけする時云々を諭され唯々醫官殿の命に從ひ同月卅日上海出發歸還の途につき翌九月二日宇品上陸直ちに廣島陸軍病院へ收容せられ同月八日陸若松病院へ轉送同月十三日表記村松病院へ轉送加療中ですが日に〳〵快方に向ひ現在歩行時若干の苦痛あるのみで近々中快癒再び第一線に立つの快心でありますから舊に倍する御後援と御指導下さいます樣偏に御願ひいたします。先は亂筆にて御禮まで申上げます。

清水久吉

女子青年 赤井嶽參拜

四倉町女子青年團に於ては來る二十五日午前七時五十分發の列車にて團員約八十余名は閼伽井嶽藥師に出征明を加へ參會者一同組合の軍人の武運長久祈願並に心擴充伸展に協力すべきを申身鍛練を主として參拜に出發する。

醤油と味噌
福島縣平市
鹽屋
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番
明治生命　磐城代理店　山崎與三郎

西村屋藥局
電話3番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

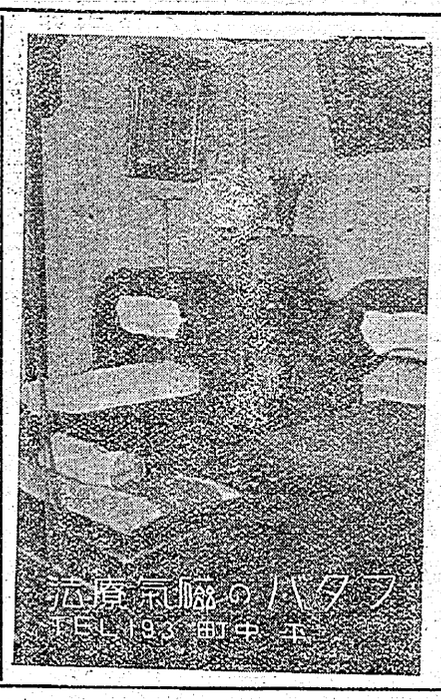
魚名すぶら
ヒノマル凍魚
鯛　目抜　甘鯛
マナ鰹　平アヂ　エビ
帆立貝柱　うに貝燒　マス
日本水産一手特約（電三八・三一六番）
卸小賣
平製氷會社
代理店　卸魚問屋　四丁目五二八番
新鮮な冷凍貝燒あります

味郷のサービスデー
本日よりおでん茶めしを初めました。毎月廿日はおひいき御禮としてお酒とビールをお勉め致します。
サロポロビール　一本　卅八錢
白菊正宗　一本　十八錢
君徳　一本　廿八錢
松竹梅　一本　五十錢
お肴は…燒鳥…トンカツ
平市三田小路（三丁目裏）
味郷（みさと）

ラヂオの故障は放送局指定相談所に
ラヂオの故障の多い季節になりました。
修理は測定裝置技術完備の弊店に
放送局指定ラヂオ相談所
HK受信機配給所
富永ラヂオ店
平驛前　電話四九六番

夜間診療
胃腸　内科　胃腸病科
性病　花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科
專門
松村胃腸性病科醫院
平市南町（電一〇七番）

蓄膿症根切藥
快鼻湯
本劑は幾多の藥劑ありと雖他藥の及ばざる良藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒されん事を御奬め致します
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
◎其他鼻骨彎曲症並に中耳炎は偉大なる神効ありと賞讃されて居ります
磐城國平市一丁目
快鼻湯製造元
水野藥局
責任製劑者　藥劑師　水野清一
電話六九九番



強力電氣應用
神經痛に特効

食事
喫茶
酒場
イワキサロン
男給の店
平・田町（電三五二）

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
和洋結髮
オゾン美顏術
御染髮洗毛
御爪術
平市驛前
水野化粧院
電話（六七八―營業所　五二五―自宅）

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ　ハカリ　マス
計量器
体溫器　寒暖計
ハカリ　トリヲ　タマイト　トリカヘ
秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
寫眞機材料一式
關内藥局
電話四〇番

和洋銅鐵金物問屋
久釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番九九番
デンキ・タイヤー部
電話六三一番